



入園・入学 ようこそ、 新入生

みなさんの入学を

とても楽しみにしていました



新年度を迎えた4月上旬、町内の町立
保育所（3園）、幼稚園（3園）、小学校
（3校）、中学校（2校）で入学（園）式

が行われました。



本年度の入園・入学者は、町立保育所
60人（第一・23人、第二・11人、かやの・
26人）、幼稚園133人（西・26人、南・
40人・東・67人）、小学校245人（第一・
91人・第二・97人、第三・57人）、中学
校226人（須恵・159人・須恵東・
67人）でした。

小学校の入学式は、4月11日（火）に
行われました。第三小学校では、6年生
に手を引かれて新1年生が入場して式が
始まりました。歓迎のことばとして2年生
の子どもたちが、国語や算数、なわとび
やプールなどの授業風景を再現した劇を

元気に披露しました。また、あいさつで
は「みなさんの入学をとても楽しみにし
ていました。学校は楽しいですよ。なに
か困ったことがあったらお兄さんお姉さ
んに聞いてください」と、新1年生を歓
迎していました。



聴講生制度第1期が終了しました

学ぶ喜び再発見!! ウン10年ぶりの授業

昨年10月から始まった、聴講
生制度の第1期が無事終了しま
した。3月24日（金）に、須
恵東中学校で後期終了式が行わ
れ、今泉靖親校長から7人の聴
講生に終了証が手渡されました。
聴講生の中には、一緒に机を
並べたクラスの生徒たちから半
年間の思いを綴った色紙を贈ら
れ、感極まって涙を流す場面も
見られました。

この制度で聴講生からは「あ
まりにも楽しくて、子どもた
ちと学ぶ50分間があつという間
だった」、「学ぶことの喜びを感
じた」という感想や「今後はさ
らにたくさん子どもたちとコ
ミュニケーションをとってい
きたい」という、意欲に満ちた意
見が聞かれました。

また、今泉校長からは、「大
人が生徒に混じって授業に入る

ことで教職員に緊張感が生ま
れ、その結果、授業のやり方を
工夫するなど、改めて勉強をす
ることができた」と、学校側
にとっても大きな効果が得られま
した。さらに、生徒たちにとつ
ても、いきいきと学ぶ聴講生の
姿を見ることによって、学習意
欲の向上や思いやりの心を育む
うえで、とても良い刺激になっ
たようです。

ここで、今回、聴講生として
参加された人たちの感想を一部
紹介します。

至福の50分

もう一度勉強させてもらえる
という、思いがけないチャンス
が昨年10月降って湧いた。須恵
町の聴講生制度だ。教室に入れ
ば、もうそこは中学一年生の世
界。私の歳は忘れる。遺唐使、
院政、南蛮貿易、社会科の先生
の言葉が、はるか50年も昔のあ
の頃を思い出させてくれる。記
憶力・理解力の薄れかけて行く

私をこの授業のひとつときだけ、
先生と子どもたちが励ましてく
れる。至福の50分だ。

（酒井 淑子）



貴重な体験

昨年10月、須恵東中学校後期
始業式、初めて入る中学校体育
館、シーンとした心地良い緊張
感の中で式が始まり、生徒さん
たちが歌う校歌を聞いた時は、
感動で胸が熱くなるのを覚えま
した。そして、先生から聴講生
の紹介があり改めて今日から中
学生なのだ実感しました。

私は一年生の英語を選びまし
たが、45年前の授業と違い日本
語が少なく、ほとんど英会話で
の授業が多く、少し戸惑いもあ
りましたが、生徒さんたちと机
を並べ共に過ごす50分間は、と
ても楽しくアツと言う間でし
た。女生徒さんが、名前を覚え
る様に座席表を書いてくれたの
ですが、覚えてしまわない内に
終わり、子どもたちとはもっ
と色んな話をしたかったのです
が、終了式を迎える日になつて
しまいました。この半年の、楽
しく貴重な体験を与えてくだ

須恵町の 聴講生制度とは…

成人の地域住民が、町内
の小中学校の児童・生徒に
混じって授業に参加できる
制度です。学校・学年・科
目を自由に選択し、希望に
よってテストを受けたり、
一緒に給食を食べることも
できます。

本町のこの制度への取り
組みは、全国で三例目で、
第1期生は、50歳代から70
歳までの7人が須恵東中学
校で聴講しました。

この制度については、多
くの自治体からいろいろ問
い合わせがあり、須恵町を
モデルにさらに広がるもの
とみられます。

